



はしかわ市長の だいすき! くさつ ~出会いの 365日~

風薫る5月に訪ねる草津

一日一日と気候が穏やかになり、過ごしやすくなってきました。すでにゴールデンウィークの旅行の計画を立てている方もいらっしゃると思いますが、草津にもたくさんの歴史ある文化財や名所がありますので、ご紹介します。

かつて織田信長や豊臣秀吉に重用され、「琵琶湖の船奉行」として隆盛を誇った芦浦観音寺(芦浦町)は、周囲に石垣や堀があり、館を思わせる重厚なお寺として、国の史跡に指定されています。普段の拝観は予約制ですが、今月4日から7日まで、春の一般公開が行われます。重要文化財である木造阿彌陀如来立像と木造地藏菩薩立像は、修理が終わり、30年ぶりに里帰りをします。

また、三大神社(志那町)の藤は、県の指定自然記念物・市の指定天然記念物に指定されており、その長く垂れ下がる花房の様子から「砂擦りの藤」と呼ばれ、とても美しい紫の景色が広がっています。近隣の志那神社(志那町)と惣社神社(志那中町)とともに

に、志那三郷の「藤まつり」が今月10日まで開催されています。

そして、草津の春を代表する民俗芸能が、「草津のサンヤレ踊り」です。「サンヤレ、サンヤレ」というかけ声からその名で呼ばれており、太鼓などの楽器を持った踊り手を中心に、周囲の人々が囃し歌うとても華やかな踊りです。国の選択無形民俗文化財となっており、今月3日に、市内の6つの地域で披露されます。

このように、草津には先人が残した素晴らしい文化財や名所がたくさんあります。ぜひこの機会に、地域の伝統に触れて、草津の歴史とそれを守り伝えてきた人々に思いを馳せてみてください。

詳しくは、広報くさつ4月15日号をご覧ください。
 芦浦観音寺、藤まつり…市観光物産協会(商工観光労政課内、☎566-3219、FAX561-2486)
 サンヤレ踊り…文化財保護課(☎561-2429、FAX561-2488)

くさつ 歴史ギャラリー 118 草津宿街道交流館 (草津三、☎567-0030、FAX567-0031)

描かれた江戸時代の旧草津川

先月、草津川跡地公園が開園しました。昔ここを流れていた旧草津川は、周りの土地より川底が高い位置にある「天井川」として知られていました。

その江戸時代の様子は、歌川広重の浮世絵で知ることができます。広重はいくつもの「東海道五十三次」揃物を描いていますが、今回紹介する「東海道五十三次之内草津」は誇張表現が少ない葛屋吉蔵板で、現在の史跡草津宿本陣近くの中山道の渡し場を描いています。

「砂川」とも呼ばれたこの川は、普段は水の流れが少なく、本格的な橋も架けられていませんでした。この絵にも、砂地の川床と浅い水流が描かれ、荷物を背負った人や、人に背負われた旅人が歩いて渡る様子が見られます。ここを歩き来する旅人は、通行料として3文の「橋銭」を支払い、背負ってもらって渡る場合は、水かさによって8文から32文の賃料が必要でした。

画面中央奥には草津宿の家並みが描かれていますが、川底の位置が高いため、屋根の部分だけが見え

ています。時代は下り、明治19(1886)年には、中山道の渡し場に川の下を横切る道路用のトンネル(通称マンボ)が完成し、独特の景観が生まれました。現在も公園の下を通っています。

江戸時代の旧草津川の様子は、草津宿街道交流館の宿場町復元模型でも見ることができます。ぜひ、ご覧ください。



▲歌川広重画「東海道五十三次之内草津」(葛吉板・部分) 草津市蔵・中神コレクション

知って得する! / ごみの話

ごみは生活のなかで必ず出るものですが、分別して活用すると「得」することもあります。ごみ減量の工夫を、「身近なことから」「できることから」「得しながら」一緒にはじめてみませんか。

📞 ごみ減量推進課(1階、☎561-2346、FAX561-2479)

紙ごみや衣類が 町内会などの 団体活動資金に!

ごみの減量とリサイクルの推進のため、町内会や子ども会などの市民団体が実施する資源回収活動事業に対して奨励金を交付します。奨励金は、団体の活動資金として自由に使えます。

- 対象団体
町内会や子ども会、老人クラブ、PTAなどの市民団体
- ※ 事業所(事務所や店舗など)や、個人的な活動は対象外
- 対象資源
段ボール・新聞紙・雑誌などの紙類、古着などの繊維類
- 奨励金額
資源1kg当たり4円

【説明会】
 🕒 5月27日(土) 14時
 📍 市役所2階 特大会議室



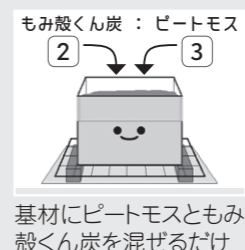
生ごみが堆肥に!

家庭から出る生ごみを、簡単に堆肥にリサイクル。ガーデンングや畑作りに役立てている人もいます。

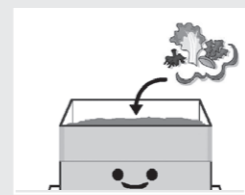
段ボールコンポスト

経済的にも機能的にも優れた生ごみ処理容器です。室内用なのでにおいも少なく、防虫ネットで虫の発生も防げます。ごみ問題を考える草津市民会議(ごみ減量推進課内)で販売しています。

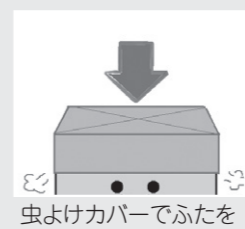
● 販売内容 段ボール、ピートモス、もみ殻くん炭、虫除けカバー
 1セット500円



基材にピートモスともみ殻くん炭を混ぜるだけ



ざる1杯分(約500g)の生ごみを処理できる



虫よけカバーでふたを

生ごみ処理容器補助制度

段ボールコンポスト以外にも、さまざまな生ごみ処理容器があります。市では、処理容器購入費の一部を補助します。必ず、購入前にお申し込みください。

【処理容器の例】



● 補助金額(先着順) 購入費の2分の1(限度額1万5千円)
 市に住民票があり、生ごみ処理容器を適正に維持管理できる人(過去に補助を受けた世帯を除く)
 他 1世帯につき、1基のみの補助

市では、焼却ごみの灰を、神戸沖埋立処分場に輸送し埋め立てています。埋立地がいっぱいになると、新たに埋立地を探さなければなくなり、多大な費用がかかります。限りある埋立地を大切に使うためには、皆さんのごみ減量の取り組みが不可欠です。引き続き、ご協力をお願いします。

